

科目名称	キャリアデザイン
授業コード	A0181
英語名称	Carrier Design I
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	嶋田 泰典
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	昨今の社会情勢の大きな変化の中で、生き方や働き方はますます多様化している。そのような中で、一人一人が自分自身の人生や働き方を主体的にとらえ、能動的にキャリアを形作っていくことが重要になっている。 キャリアデザイン では、「キャリアデザインの必要性」について理解を深めるとともに、キャリアデザインを考える上で重要な「ライフキャリア」「ビジネスキャリア」「自己理解」の基礎を理解・考察することで、生涯にわたってキャリアを形作っていくための礎（いしずえ）を築くことを目的とする。 授業では、講義によるインプットだけでなく、個人ワークやグループワークを通じた能動的に考え・学ぶ機会も提供し、キャリアデザインに対する理解を深めて行く。
科目に関連する実務経験と授業への活用	担当講師 嶋田泰典は、日系電機メーカーで一貫して人事・総務の仕事に携わり、社員にとどまらず学生も含めた社内外とのキャリア相談の経験を有している。また、日系電機メーカー退職後、外資系コンサルティングファームで社外の顧客に対するPJワークに従事するとともに、Employee Experience（EX/従業員が企業や組織の中で体験する経験価値）向上に向けた推進メンバーとして、キャリア相談をはじめとした各種施策の立案・推進を行っている。 これらの経験を通じて、学生のみなさんが「人生」や「働く」ということについて自ら主体的にデザインしていく上で必要なマインドや考え方をお伝えし、講義やワークを通じて共に考える場を提供していくことができる。
到達目標	建学の精神に基づき、高度な専門的知識と実践的な問題解決能力を備え、倫理的な判断力を有した社会で活躍し続ける人材を育成することを目的とする。 （１）キャリアデザインとは何か/なぜ学ぶ必要があるのかを理解・考察する。 （２）キャリアデザインを考える上で重要なライフキャリア・ビジネスキャリア・自己理解の基礎を理解する。
計画・内容	・第1回 オリエンテーション （授業の概要や、今後の進め方について理解する） ・第2回 キャリアデザインとは何か/なぜ学ぶのか（１） ・第3回 キャリアデザインとは何か/なぜ学ぶのか（２） （キャリアデザインとは何で、なぜ学ぶ必要があるのかを社会情勢の変化も踏まえ理解・考察する） ・第4回 キャリアと発達理論（１） ・第5回 キャリアと発達理論（２） （キャリアデザインについて、生涯発達の視点から幅広く理解・考察する） ・第6回 キャリアとウェルビーイング （ウェルビーイング（幸福）という観点でキャリアデザインを理解・考察する） ・第7回 モチベーション理論 （各種モチベーション理論を理解し、自身のモチベーションを考察する） ・第8回 ライフキャリアとの対峙 （ライフキャリアを人生全体として捉え、どのように向き合っていくべきかを考察する） ・第9回 キャリアデザインと自己肯定感 （キャリアを主体的にデザインしていく上で重要となる自己肯定感について理解・考察する）

計画・内容	第13回 食品の残留農薬及び化粧品の管理（友澤） 第14回 リスクコミュニケーションとレギュラトリーサイエンス（吉川） 第15回 コンプライアンスとCSR（吉川）
授業の進め方	パワーポイントを使用した授業形式で、PDF化した教材は予め配信するので各自ダウンロードすること。
能動的な学びの実施	毎回確認課題とその解説を行い、良い解答や問題提起などがあったものは紹介し知識や考え方を共有する。
授業時間外の学修	予習 60分 配信教材に沿って進める。あらかじめ配信教材を読んでおくこと。 復習 60分 授業後に毎回確認課題と配信教材を整理し、理解を深めること。
教科書・参考書	教科書は特に使用しない。 参考書は適宜紹介する。
成績評価方法と基準	確認課題を毎回課し（兼出席票）、それらを合算(100%)する。なお、2/3以上の出席をしていない場合は、成績評価の対象としない。
課題等に対するフィードバック	授業回ごとに前回の確認課題の振り返りを行う。
オフィスアワー	講義終了後15分程度、メールでの質疑応答（対面での実施が不可能な場合）。 窓口教員：岩瀬礼子先生
留意事項	本科目は、「食品衛生管理者・監視員」資格取得のための選択科目である。選択科目ではあるが、法規上の科目「品質管理学」に該当する唯一の開講科目なので積極的に受講すること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業動画配信によるオンデマンド授業とする。授業中課題100%で評価する。